

科目区分	専門教育科目	授業科目名	領域「健康」の指導法Ⅰ			科目コード	24Y202	担当者	野田 章子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修		
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	領域及び保育内容の指導法に関する科目
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	小学校で教諭として勤務した経験があり、子どもの健康に関して幅広い知識を有している。この経験を生かして、領域「健康」の指導法Ⅰの授業をおこなう。								科目に含めることが必要な事項	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

授業の主題	本演習は、領域「健康」の専門的知識および理論を踏まえて、領域「健康」が指導できるようにすることを目標としている。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	課題は内容を確認し、コメントし、返却する。
授業の方法	パワーポイントスライドおよび映像資料を使用した講義形式で行う。また、領域「健康」の指導案を立案し、領域「健康」の教材を作成する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	各自でおこなった教材研究をもとに、自分の教材を作成する。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	領域「健康」の理解と指導法	事前：領域「健康」について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する	
第2回	領域「健康」をめぐる現代的課題	事前：領域「健康」をめぐる現代的課題を調べる 事後：教科書および配布資料を復習する	
第3回	領域「健康」の指導案の理解	事前：領域「健康」指導案について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する	
第4回	領域「健康」の指導案の作成	事前：領域「健康」の指導案を作成する 事後：教科書および配布資料を復習する	
第5回	領域「健康」の教材研究とICTの活用の理解	事前：領域「健康」とICT活用について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する	
第6回	領域「健康」の教材研究とICTの活用の計画	事前：ICTを用いた領域「健康」の教材を考える 事後：教科書および配布資料を復習する	
第7回	領域「健康」の教材研究とICTの活用の実践	事前：ICTを用いたと領域「健康」の教材を作成する 事後：教科書および配布資料を復習する	
第8回	領域「健康」に関する保育の振り返りの記録と評価	事前：領域「健康」の振り返りと評価を調べる 事後：教科書および配布資料を復習する	
		事前・事後 学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	保育内容 健康 ―基礎的事項の理解と指導法―／川邊貴子 吉田伊津美（編著）／建帛社	受講生へのメッセージ	自分の考えた指導案や教材を作成しながら、領域「健康」についての理解を深めましょう！
参考書 [書名／著者名／出版社]	幼稚園教育要領／文部科学省、保育士保育指針／厚生労働省、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領／内閣府		

評価基準																		
		学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率 (学修成果の%)	評価方法の配点比率 (%)						学修成果の小分類			尺度				
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 (S : 100～90%)	レベル4 (A : 89～80%)	レベル3 (B : 79～70%)	レベル2 (C : 69～60%)	レベル1 (F : 59%以下)
観点	尽心	態度・志向	① 学習意欲															
			② 規律性															
	創造	知識・技能	③ 知識	40	40						専門的な知識が身についている	専門的な知識	テスト	十分に専門的な知識が身についている。	専門的な知識が身についている。	専門的な知識が概ね身についている。	専門的な知識がある程度身についている。	専門的な知識が身についていない。
			④ 技能	30			30				「健康」の指導法を理解して、教材研究ができる。	専門的技能	課題	十分に「健康」の指導法を理解して、教材研究ができる。	「健康」の指導法を理解して、教材研究ができる。	概ね「健康」の指導法を理解して、教材研究ができる。	ある程度「健康」の指導法を理解して、教材研究ができる。	「健康」の指導法が理解できず、教材研究ができない。
		思考・判断	⑤ 情報活用能力															
			⑥ 課題解決力	30			30				領域「健康」のねらいを理解し、ふさわしい指導案が作成できる	課題解決力	課題	十分に「健康」の指導法を理解して、指導案が作成できる。	「健康」の指導法を理解して、指導案が作成できる。	概ね「健康」の指導法を理解して、指導案が作成できる。	ある程度「健康」の指導法を理解して、指導案が作成できる。	「健康」の指導法が理解できず、指導案が作成できない。
		表現	⑦ 言語活用能力															
			⑧ コミュニケーション力															
	実践	行動・応用	⑨ 主体性															
			⑩ 協働性															
合計				100	40		60											